

平成24年8月14日

横浜市長 林 文子様

NPO 法人ホタルのふるさと瀬上沢基金
理事長 角田東一
横浜市港南区港南台 9-30-31
連絡先 090-6191-1861

上郷開発地域の全面買取りを

東急建設は、平成24年1月に「上郷開発都市計画提案」相談書を提出しました。この計画案では、12.4ヘクタールの樹林地や農地を市街化区域に編入し、製鉄遺跡の眠る樹林地を削り、深田谷戸と猿田谷戸を埋め立てる計画となっています。

横浜市は、“樹林地を守る、農地を守る、緑をつくる” みどりアップ計画や、“つながりの森” の「ヨコハマ b プラン」を推進中です。

横浜の緑地は不足し、市街化区域には市有土地が余っている今、緑地を削つての開発は市の緑地政策と整合性が無いと考えますが、市長の考えを伺います。

また事業者は、総面積33.1ヘクタールの内22.9ヘクタールの緑地を対象に、市へ買取り要請をしております。新聞報道などによれば、横浜市は「買取りの用意がある」との意向を示しています。

部分買取りは、開発を促進することになるため、市の緑地政策に反することになり、みどり税の無駄づかいになる恐れもあります。貴重な緑地を守るためには、部分買取りは行なわず、全面買取りをすべきと考えますが、市長の見解を伺います。

ホタルのふるさと瀬上沢基金は、「ナショナル・トラストで基金を集め、瀬上沢緑地の取得や借用を行い、自然環境と文化遺産を次世代へ引き継いでいく」ことを目的としています。会員と寄付者数は、現在7,200人超となっています。

お金を出してでも瀬上沢の自然と文化遺跡を残したい、という強い意志を表わしている市民の声を重く受け止め、ご回答をお願い申上げます。

以上

市広聴第 1198 号
平成 24 年 8 月 27 日

NPO 法人ホタルのふるさと瀬上沢基金
理事長 角田 東一 様

横浜市長 林 文子



上郷開発地域の全面買取に関する要望書について（回答）

さきにご要望（平成 24 年 8 月 14 日）のありましたことについて、次のとおりお答えします。

栄区の上郷町猿田地区は、平成 24 年 1 月 13 日に東急建設株式会社から都市計画提案の事前相談書が提出されました。これに対し、本市から平成 24 年 3 月 9 日に助言書を交付しています。現在、東急建設株式会社では、都市計画提案に向けて関係機関との調整や計画内容の検討などを進めています。

今後、当該地区に関する都市計画提案書が提出された場合、本市では、緑地などの自然環境の保全や計画的なまちづくりなど、様々な観点から提案内容を総合的に評価し、都市計画決定や変更をする必要があるか否かを判断していきます。

また、本市では土地所有者のご理解とご協力をいただきながら緑地保全制度による区域指定などにより、樹林地の保全に取り組んでいます。

ご意見をいただいた地区の樹林地は、できるだけ保全されることが望ましいと考え、緑地保全制度の指定について、地権者に対し働きかけを行ってきました。

これからも皆様のご協力をいただきながら、樹林地の保全を進めていきます。

この旨ご了承いただき、貴会の皆様によろしくお伝えください。